

平成29年度 志教育全体計画

宮城県一迫商業高等学校

校訓

誠実 自律 奉仕

本校の教育目標

- 1 強調と奉仕の精神を持って誠実に責任を果たす態度を養う。
- 2 自主的精神に富み、不屈の意志と逞しい実践力を持つ健全な心身を育てる。
- 3 科学的な知識とすぐれた技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める態度を養う。
- 4 郷土に対する認識を深め文化遺産を愛護し、豊かな情操と高い道徳心を培う。

生徒の実態、教師の願い

<生徒の実態>
 1 学習について行けないと安易にあきらめがちな生徒も、手厚く丁寧な指導で学習意欲が向上し学力が著しく向上することが多い。
 2 進路に対する意識が高く、平成25年度卒業生の進路決定率は100%である。(進学27%、就職73%)
 3 積極的に部活動に取り組んでいる生徒が多い。
 <教師の願い>
 本校の教育目標を身につけ、誇りを持った社会人になって欲しい。

保護者や地域の願い

- 1 地域の教育的ニーズに応えていくため、これまで以上に「専門高校」として、一迫商業の特色ある、魅力ある学校づくりを一層推進して欲しい。
- 2 社会で活躍する上で必要な知識や技能の習得・インターンシップなどを充実させ自らの在り方・生き方を見定めて、勤労観・職業観を育てて欲しい。

志教育の目標

- 1 商業教育を通して地域社会を担うことのできる有為な人材となる。
- 2 様々な体験を通して、豊かな情操や人間性を身につける。
- 3 経験の蓄積から、困難を乗り越える粘り強さを身につけ自己を社会に位置づける。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
1 様々な人とのかかわりを通して、自己理解や他者理解を深化させるとともに思いやりの心を養う。 2 集団や組織の中で、よりよい人間関係を築くコミュニケーション能力や社会性を養う。	1 自分で選択した事業所におけるインターンシップや長期企業実習を通して職業適性を学び、社会における自分の役割について考えさせる。 2 授業や部活動、検定取得などを通して、自らの在り方生き方について主体的に探求させる。	1 集団や組織の中で、日常的にあるいは行事などで自分の果たすべき役割を認識させる。 2 自分の役割を果たすことにより、信頼関係を構築するとともに自己有用感を高める。

各教育活動における取組の観点

各教科	1 商業において、経済社会の発展に寄与する能力と実践的な態度を育てる。 2 国語や英語、商業の実習を中心として、コミュニケーション能力を向上させる。 3 社会や家庭、芸術を中心として自分の生き方やライフスタイルを考えさせる。 4 保健体育や家庭を中心として、健康安全について理解し、実践する。集団行動での協力、安全、効率化の習慣を身につけさせる。 5 数学や理科を中心として、合理的な考え方を身につけさせる。 6 進路達成に向け、基礎学力を向上させる。
道徳	1 夢や希望の実現を目指し、あきらめずに忍耐強く取り組む生徒を育成する。 2 社会の一員としての自覚を持ち、社会の発展に貢献する生徒を育成する。
総合学習	1 自分で企業を選択し、職場体験学習を行い、将来の希望進路達成の指針とする。 2 勤労の尊さや喜び、楽しさや厳しさを学び、社会における自分の役割や責任・自覚を促す。
特別活動	1 心身の調和のとれた発達、個性の伸張を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 2 人間としての在り方・生き方についての自覚を深め、様々な集団で自己を生かす能力を養わせる。
その他	1 各種の検定取得に挑戦し、努力によって資格獲得ができることを実感させ、進路選択の一助とする。 2 生徒会による、あいさつ運動を通してコミュニケーションの習慣を身につける。 3 生徒会による、ボランティア活(配食サービス、プルタブ回収、ペットキャップ回収)を通して地域社会に貢献し、人間性を育む。

各学年の取組内容

1年	1 SG式興味検査(6月) 2 1, 2年拡大社会人講話(7月) 3 進路ガイダンス(9月) 4 デュアルシステム学習発表会を聞く(1月) 5 3年生の進路体験を聞く会(2月) 6 インターンシップ校内発表会を聞く(3月)
2年	1 2学年進路行事ガイダンス、職業探求(4月～6月) 2 実習事業所の選択(5月) 3 インターンシップ事前研修(6月～9月) 4 社会人講話(6月) 5 基礎力診断テスト(6月) 6 1, 2年拡大社会人講話(7月) 7 一般常識(挨拶と打合せの仕方:7月)、(身だしなみ・敬語・言葉遣い・マナー:10月) 8 インターンシップ事業所との打合せ(夏季休業中) 9 インターンシップ体験(9月)、校内発表会(3月) 10 社会人講話、卒業生講話、進路ガイダンス(9月～10月) 11 デュアルシステム学習発表会(1月) 12 3年生の進路体験を聞く会(2月) 13 インターンシップ校内発表会
3年	1 校内進路ガイダンス(5月) 2 第1回校内模擬面接(6月) 3 外部講師による進路ガイダンス(6月) 4 第2回校内模擬面接(7月) 5 社会人講話「接客マナー講習」(7月) 6 進路希望先企業訪問(7月～) 7 三者面談(8月上旬) 8 第3回校内模擬面接(9月) 9 築館ロータリークラブ模擬面接、外部講師模擬面接(9月) 10 長期企業実習(企業実習:4月～12月、販売実習:7月～11月、起業家研究:7月～12月) 11 デュアルシステム学習発表会(1月)

家庭との連携

- 1 進路開拓、学習意欲の動機づけのために進んでいる検定受験に向けた補習等への保護者による理解と協力により将来を考えさせる。
- 2 規律ある学校生活推進における連携により社会人としての基本的行動様式を身につけさせる。
- 3 学校行事への保護者の協力により、学校・家庭が連携して生徒の豊かな情操を育む。
- 4 学年PTAや地区PTAを通して情報交換を図り、良好な人間関係を構築することのできる生徒を育む。

地域・企業との協働

- 1 デュアルシステムによる、インターンシップ及び長期企業実習の推進により、地域の企業や職場を知るとともに、社会における自分の役割を考えさせる。高校生の就業体験により、地域の活性化につなげる。
- 2 校内模擬面接に外部講師を依頼、更に築館ロータリークラブによる模擬面接・講話により社会人になる心構えや生き方考えさせる。

平成29年度 宮城県一迫商業高等学校「志教育」年間指導計画

「◎」特にあてはまる「○」あてはまる

3つの視点			かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす	かわかる	もどめる	はたす						
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	◎	○	○	理科	○	○				
	話す・聞く・書く・読む能力を向上させ、伝え合う力を高める。思考力や創造力を伸ばし、総合的な言語能力を養う。			わが国の歴史、世界各国の文化・風土を尊重しながら、異文化理解を深める。地元の特徴を生かした地域の活性化に貢献する資質を養う。			現代の社会や人間の生き方について学び、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。			数学的活動を通して、論理的に思考させ表現できるようにし、数学の学び方を身につける。商業科目との連携を深め、実用力を身につける。			科学的な自然観を総合的に身につけることにより、自然と人間の密接な関わりを探究し、自然災害や環境問題に対応できる能力を育成する。										
	保健体育	○	◎	○	音楽	○	◎	○	英語	○	○	○	家庭	○	○	○	国教英	○	◎	○			
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたる健康の保持増進のため、青年期の運動習慣や保健のための生活習慣を実践し、活力ある生活を育む態度を育てる。			一人ひとりの感性を高め、音楽を愛好する心情と豊かな情操を養う。生涯にわたって、音楽を生活の中に取り入れ、心豊かな人間性の育成を図る。			外国の文化に対する関心を深めるとともに、考えを適切に伝えるコミュニケーション能力を養う。販売や接客対応の語学力を身につける。			自律した生活に必要な知識と技術を取得させる。社会と家庭とのかかわりについて理解を深め、男女が協力して生活を創造する態度を育てる。			週末課題により、基礎学力の定着を図る。漢字検定や英語検定に積極的に挑戦することで情報処理能力や商業英語の知識と技術を高める。										
	商業	◎	◎	◎	ビジネスに関する分野についての知識と技術を習得させ、流通に関する活動に適切に対応するための能力と態度を育てる。情報処理に関する分野についての知識と技術を習得させ、情報処理に関する活動に適切に対応するための能力と態度を育てる。体系的・実践的な学習や問題解決的な学習によって、職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択能力や職業観・勤労観を育成する。資格取得を通して知識・技術の定着を図り、活用能力の向上と社会にとって有用な人材を育成する。地域産業と連携し、現場での実践を通して、地域産業の担い手となる将来有能な人材の育成を目指す。また、起業することや企業経営の難しさについても学び、社会的責任を担う職業人として、倫理観を醸成し、社会の信頼を得てビジネスに取り組む人材を育成する。																		
学年共通																		かわかる	もどめる	はたす	各学年指導目標		
指導内容	① あいさつの励行	◎	○	○	1年	○ 基本的な生活習慣の確立及び他者との望ましい人間関係を構築する。 ○ 興味検査や社会人講話により職業観を育成する。 ○ デュアルシステム発表会や3年生の進路講話により、勤労観を育成する。																	
	② 正装としての制服着なしの徹底	◎	◎	◎																			
	③ 清掃活動の徹底	○	◎	◎	2年	○ 学習と部活動の両立及び資格取得への実力を向上させる。 ○ インターンシップを通して職業を探究し、適性について考えを深める。 ○ マナー講習、各種講話・講演及びインターンシップ発表会を通して社会人・職業人としての資質を身につける。																	
	④ 意欲的な課外学習習慣の確立	◎	◎	◎																			
	⑤ 進路意識の喚起	○	○	◎	3年	○ 半年間の企業実習、起業家研究、販売実習により職業観・勤労観を確立し進路を決定する。 ○ ビジネスや情報処理の知識技術を習得し、取得した資格と自分の適性を生かし進学・就職を決定する。 ○ 就職・進学先でも意識を高く持って生活・行動できるよう、心構えの啓蒙や情報の提供を行う。																	
	⑥ 部活動や学校行事への積極的参加	○	◎	◎																			
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かわかる	もどめる	はたす												
1年	進路ガイダンス①	3年間の進路指導計画の説明による意識の定着を図る。			特別活動	6月	1	○	○	○													
	SG式興味検査	興味検査により、将来の職業に対する自己理解を図る。			特別活動	6月	1	○	○	○													
	拡大社会人講話(1・2年合同)	社会で活躍している方々の話を聞くことにより、進路選択の一助とする。			学年行事	7月	2	◎	○	○													
	進路ガイダンス②	職業の種類、職種・学校などを説明し、将来の目標を見つめる。			学校行事	9月	1	◎	○	○													
	進路講話	今年度の進路状況の説明により、進路意識の向上を図る。			特別活動	12月	1	◎	○	○													
	デュアルシステム学習発表会	先輩達の実習から職業観、勤労観を育成する。			学校行事	1月	1	◎	○	○													
	進路講話	進路が内定した先輩から成功のポイントを語る。			学年行事	2月	1	◎	○	○													
インターンシップ校内発表会	2年生のインターンシップ発表を興味のあるグループに参加し職業観を育成する。			学年行事	3月	1	◎	○	○														
進路ガイダンス③	今年度の進路状況の説明や、次年度へ向けての進路に対する説明を行うことにより、進路に対する意識の向上を図る。			特別活動	3月	1	◎	○	○														
2年	インターンシップオリエンテーション	インターンシップのねらいや流れを説明し、将来の目標へ結びつけることをねらいとする。			総合学習	6月	1	◎	○	○													
	職業探求	仕事とは何か、人はなぜ働くのか、応対マナー等、職業について考える。			総合学習	6月	1	◎	○	○													
	来客への対応と職場のマナー	仕事をすることで必要とされるマナーについて学び、社会人としての心得を身につける。			総合学習	6月	1	◎	○	◎													
	SG式職業適性検査	各自の職業の適性を把握することにより、よりよい職業の選択を促す			総合学習	6月	1	◎	◎	○													
	拡大社会人講話(1・2年合同)	社会で活躍している方々の話を聞くことにより、進路選択の一助とする。			学年行事	7月	2	◎	○	○													
	インターンシップ直前ガイダンス	実習にむけての直前ガイダンスを行うことにより、インターンシップの心構えを再確認する。			総合学習	8月	1	◎	○	○													
	インターンシップ	実習を通じて、勤労観や職業観を育成し、将来の進路選択の一助とする。			総合学習	9月	1	◎	◎	◎													
	礼状作成・実習レポートまとめ	お世話になった企業へ、お礼状を作成、また、レポートにより実習を振り返る。			総合学習	9月	1	◎	◎	◎													
	講演会	「働く」ということを聞き、実習体験を深める。			総合学習	11月	1	◎	◎	◎													
	理想の求人票作成	職業探求をまとめる。			総合学習	11月	1	◎	◎	◎													
	デュアルシステム学習発表会準備	プレゼンテーションの企画力及び協力性を育成する。			総合学習	11月	1	◎	◎	○													
	進路講話	今後の対策に生かすため、3年生の村戸内定状況を知る。			総合学習	12月	3	◎	◎	◎													
	デュアルシステム学習発表会	インターンシップの振り返り及び代表者のプレゼンテーション能力の向上を図る。			学校行事	1月	3	◎	◎	◎													
	進路講話	進路が内定した先輩から成功のポイントを自覚する。			学年行事	2月	1	◎	◎	◎													
インターンシップ校内発表会	1年生に対し、2年生一人ひとり全員がプレゼンテーション能力の向上を図る。			学年行事	3月	1	◎	◎	◎														
年間まとめ・自己評価	1年間の総合学習を通じて、自己を評価し、今後どのような進路へ進んでいくかを考える。			総合学習	3月	1	◎	○	◎														
就職・進学ガイダンス	3年生へ向けての、進路に関する説明を行い、進路意識の向上を図る。			特別活動	3月	1	◎	◎	◎														
進路ガイダンス	進路目標へ向けた流れの説明により、具体的な動きを説明する。			特別活動	5月	1	◎	◎	◎														
3年	長期企業実習「企業実習」	地域産業と連携し、現場実習を行い職業についての知識や技能を習得するとともに、職業観や勤労観を醸成する。			選択科目3単位	4～1月	105	◎	◎	◎													
	長期企業実習「販売実習」「起業家研究」	「販売実習」によって、店舗設計、仕入れ、販売計画、経理、マーケティング、接客により流通の実験を学ぶ。「起業家研究」によって、商品開発までの調査、製造、包装を学び販売する充実感を味わう。			課題研究3単位	4～1月	105	◎	◎	◎													
	職業・学校選択	職業・学校選択にあたっての説明会を開き、進路選択の一助とする。			特別活動	6月	1	◎	◎	◎													
	第1回校内模擬面接	面接での出入りの指導を中心に、スムーズにできるようにする。			学年行事	6・7月	1	◎	◎	◎													
	集団模擬面接	他の生徒と練習することにより、集団面接の方法、答え方などを学習する。			学年行事	6月	1	◎	◎	◎													
	履歴書志望動機	志望動機の書き方を学び、企業から見てよりよい履歴書を作成する。			特別活動	6月	1	◎	◎	◎													
	現在の企業情報	進路希望に合わせた今後の計画を立てる。			特別活動	6月	1	◎	◎	◎													
	分野別説明会	就職・進学と分野別に分かれ、最終的な進路選択の確認をすることをねらいとする。			学年行事	6～7月	1	◎	◎	◎													
	第2回校内模擬面接	進路希望先の特徴を面接で表現できるようにする。			学年行事	7月	1	◎	◎	◎													
	就職・進学対策講座	夏季休業中の2週間で筆記試験強化を図る。			学年行事	8月	1	◎	◎	◎													
	第3回模擬面接・就職模擬試験	築館ローグラーによる面接と社会人としての心構えの講話及び外部講師による模擬面接会、模擬試験を通して進路希望達成の力をつける。			学年行事	9月	1	◎	◎	◎													
	出願に当たって、就職・進学出陣式	試験直前の確認と試験に向けて意気込む。			学年行事	9月	1	◎	◎	◎													
	各種企業面接会、ショッパリア	関東方面、仙台、古川、ハローワークの面接会やショッパリアに参加しチャレンジ精神を養い内定を目指す。			進路未内定者	10～12月	各2	◎	◎	◎													
社会人になるにあたり	社会人として卒業後の心構えを養う。			学年行事	1月	1	◎	◎	◎														
進路講話	進路が決定した3年生から在校生へアドバイスをし、後輩育成の一環を担う。			学年行事	2月	1	◎	◎	◎														
高校生入社準備セミナー	入社時の心構え、社会でのトラブル、早期離職の回避などのセミナーを行うことにより、社会人の一歩をより良くスタートできることをねらいとする。			学年行事	2月	4	◎	◎	◎														
合計時数								259	共通 個別														